

OECC 第6回橋本道夫記念シンポジウム

～気候変動対策における都市の役割～

(2024年5月29日現在)

1. 趣旨

「気候変動に関する政府間パネル」(IPCC)は、2023年後半より第7次評価報告書(AR7)の作成に向け始動しているが、今回の評価報告書作成プロセスにおいては、気候変動が都市に及ぼす影響や都市特有の緩和・適応の課題・機会に着目し、「気候変動と都市に関する特別報告書」を2027年当初迄にとりまとめるべく、今春から執筆プロセスが開始されている。

資源消費の中心地である都市は、持続可能な政策を実施し、持続可能な脱炭素経路に移行するための機会を提供できることから、世界的な緩和目標を達成するうえで極めて重要な役割を果たしている。

我が国においては、かねてより温暖化対策推進法の下、地方公共団体における取組を推進するとともに、国際的には、気候変動対策において途上国の都市との連携による「都市間連携事業」など様々な先進的取組を展開しているが、こうした我が国の経験は、今回のIPCC「気候変動と都市に関する特別報告書」作成に貢献することが期待されている。

このような観点から、本年の橋本道夫記念シンポジウムでは、「気候変動対策における都市の役割」をテーマに国内外の専門家の参加による討議を行い、その成果を国内外に幅広く発信することにより、国際的な議論への貢献を目指していく。

2. 日時：2024年6月28日(金) 14:30～17:30

3. 会場：TKP 新橋カンファレンスセンター15階「ホール15E」

東京都千代田区内幸町1-3-1 幸ビルディング15階

会場案内図: <https://www.kashikaigishitsu.net/facilitys/cc-shimbashi-uchisaiwaicho/access/>

4. 開催方式：対面開催+オンライン(Zoom)

5. 言語：日英同時通訳(前半のみ)

6. 参加申込先: <https://forms.office.com/r/RNEHa4ctbM>

* オンライン参加用URLは参加申込者に後日ご案内いたします。

7. 申込期限: 6月24日(月)

* なお、イベント会場での参加につきましては定員に達した時点で締め切らせていただきます。オンラインでの参加は受け付けます。



8. プログラム：

時間	内容
14:30-14:40	開会 開会挨拶 竹本 和彦 (OECC 理事長)
14:40-15:00 (20分)	特別講演 「地球環境問題を巡る内外の最新動向」 松澤 裕 (環境省 地球環境審議官)
15:00-15:20 (20分)	基調講演 1 (オンライン) 「IPCC Special Report on Climate Change and Cities の作成に向けた今後の展開について」 Prof. Winston Chow (IPCC WGII 共同議長／シンガポール経営大学教授)
15:20-15:40 (20分)	基調講演 2 「気候変動問題解決への都市の役割～グローバルネットワーキングの重要性」 橋本 徹 (Y-Bridge 代表 (前 横浜市 国際局長))
15:40-16:00 (20分)	Q&A/Discussions モデレーター：竹本 和彦(OECC 理事長)
16:00-16:15	休憩
16:15-17:30 (75分) 冒頭発言 40分 (各 10分×4名)	パネル・ディスカッション パネリスト： ・三村 信男 (OECC 会長／茨城大学 特命教授) 「IPCC Special Report への日本からの貢献」 ・片岡 八束 (地球環境戦略研究機関 都市 プログラムディレクター) 「都市間連携プログラム：10年の経験からの教訓」 ・加藤 真 (OECC 理事 兼 業務部門長) 「都市間連携プログラム：バンコク都の連携事業の経験からの貢献可能性」 ・内田 東吾 (ICLEI 日本事務所 事務局長) 「ICLEI 活動からの IPCC Special Report プロセスへの貢献可能性」 ディスカッサント： 足立 宗喜 (慶應義塾大学 特任准教授)
17:30	閉会